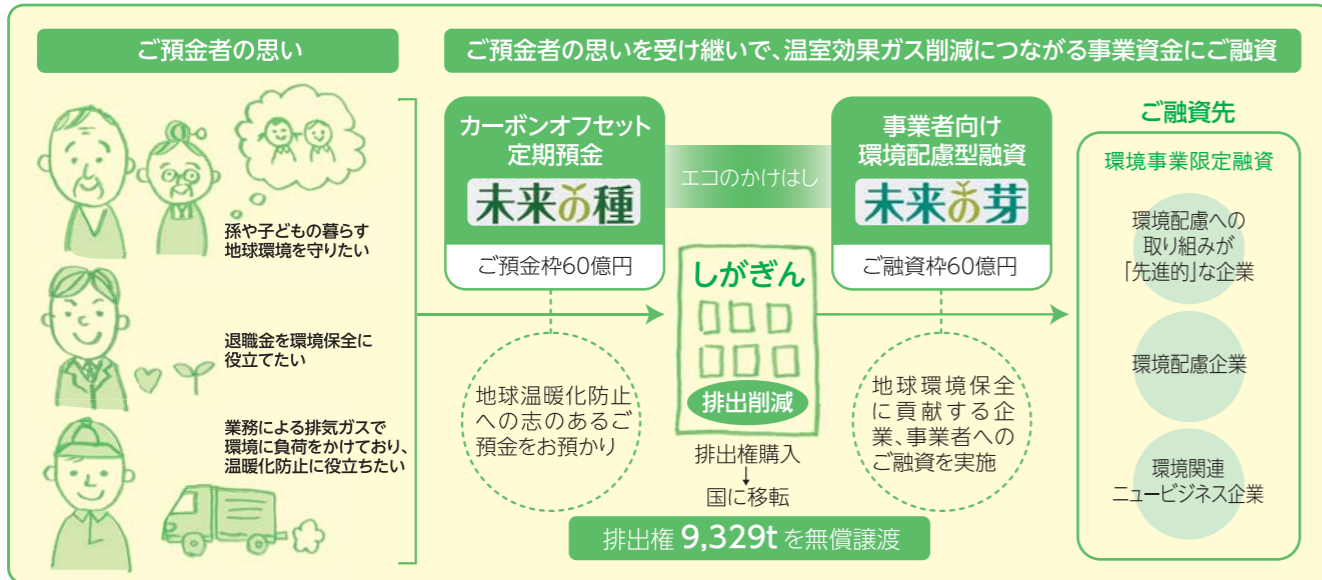




# お金の流れで地球環境を守る

- 「地球温暖化防止への思いが込められたご預金を原資に、
- 温室効果ガス削減に取り組まれる事業者へご融資する」、
- まさに「お金の流れで地球環境を守る」という当行独自の「環境金融」を実践しております。

## 預金と融資を地球環境保全で結び ~未来の「種」から「芽」へ~



## 未来の地球を守る種まき

~カーボンオフセット定期預金「未来の種」~

お客さまからお預け入れいただいた定期預金の金額に応じ、当行が費用を負担して温室効果ガス排出権を購入する「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」の取り扱いを、2008年4月、国内の金融機関で初めて開始しました。

### お客さまの反応

京都議定書の5年間(2008年~2012年)に合わせた預け入れ期間の長さにも戸惑われることもありましたが、地球温暖化防止に込めた当行の思いをご説明すると、ご賛同いただけるお客さまも多く、環境意識の高い個人のお客さまを中心に預け入れいただきました。

2010年度も、お預け入れ残高の0.1%分として排出権2,765tを購入し、初年度分から累計で9,329tの排出権を国に無償譲渡しました。



## “未来の種”を育てます

~事業者向け環境配慮型融資「未来の芽」~

2008年7月には「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」による、地球温暖化防止への思いが込められたご預金を、環境配慮に先進的な事業者の皆さまや、温室効果ガス削減への取り組みが必要とされる資金にご融資する「事業者向け環境配慮型融資『未来の芽』」の取り扱いを開始しました。



平成20年度「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を受賞

両商品ともに大好評いただき、ご預金枠・ご融資枠ともに60億円に達したため、取り扱いを終了させていただきました。



カーボンオフセット 地球温暖化対策として、企業や消費者が排出した温室効果ガスの一部を排出権の取得や自然保護活動への協力等で相殺すること。

## 環境対応型金融商品 推進担当者の声



九条支店 西村 雄一

お取引先の環境への取り組みは、日に日に活発化しています。省エネによるコスト削減、環境を切り口としたPR、他社との差異化、新たなビジネスの開拓など、多様化の一途です。

その中で、私たち「しがざん」の営業担当者が持つ環境ビジネス情報や、ビジネスマッチング情報を活用していただき、また、環境投資に際しては、当行独自の環境対応型金融商品にて、お手伝いをさせていただきたいと考えています。

## 環境+防災意識の共有化と促進 「エコ&耐震住宅ローン」



「エコ&耐震住宅ローン」は、環境対応型住宅および耐震住宅の促進を目的に、同住宅を購入される場合に金利を引き下げるものです(2005年取扱開始)。

太陽光発電システム導入住宅やエネルギー効率の高い住宅を普及促進することにより温室効果ガスの排出量を削減。また、滋賀県には琵琶湖西岸断層帯が存在しており、耐震住宅の建設を促進することにより、お客さまの生命や、財産を守るためのお役に立ちたいとの願いを込めています。

加えて、省エネルギー住宅や耐震住宅へのリフォームをお考えのお客さまには「セレクトリフォームローン(エコ&耐震)」により、通常よりも低い金利で必要な資金をご融資いたします。



## Topics

### 『しがざん』みどりの贈り物 ~エコ・ファースト企業との連携~



環境経営に積極的に取り組むエコ・ファースト企業として、積水ハウス株式会社と連携し、2010年9月より、「しがざん」みどりの贈り物」の取り扱いを開始しました。これは、住環境における環境や生物多様性への配慮の浸透を目的としたものです。

- ① 積水ハウスの環境配慮型住宅「グリーンファーストモデル」を建築されるお客さまのうち、当行住宅ローン利用の方の金利を引き下げます。
- ② 積水ハウス「5本の樹」計画に加えて、当行より1本の苗木を進呈。



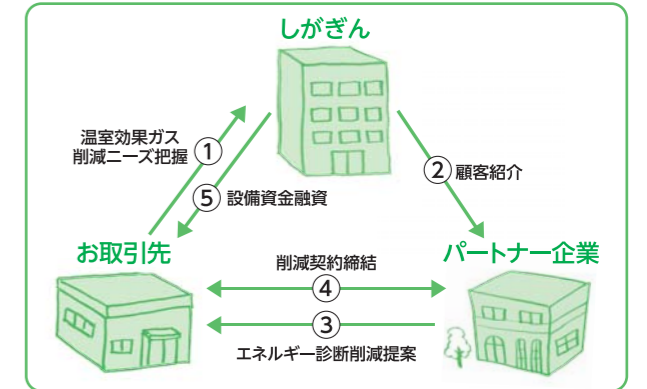
## 地球温暖化防止に向けた取り組みを支援 「温室効果ガス削減支援業務」

「温室効果ガス削減支援業務」として、ランニングコスト(光熱費)と温室効果ガスの削減につながる取り組みを支援しています(2009年2月取扱開始)。

具体的には、温室効果ガス排出削減の必要性を認識されたお取引先の所有設備やエネルギー使用状況などを当行が把握し、削減ノウハウを有するパートナー企業にご紹介。当行はパートナー企業と共同で具体的な削減手法を提案し、削減に向けた設備投資に必要な資金をサポートします。

本業務により、地域の金融機関として、地域社会の低炭素化に貢献するとともに、省エネ設備への投資を促進して地域経済の活性化を実現していきます。

### 〈業務の流れ〉



## CO2の地産地消

政府が主導する「**試行排出量取引スキーム**」に目標設定参加者として参加しています。

また、同スキームの「**国内クレジット制度**」に基づく温室効果ガス排出削減事業の共同実施者にも参加し、「**地元中小企業向けの環境対策支援サービス**」に活かしています。

具体的には、繊維製品製造工場で実施する温室効果ガス排出削減事業の共同実施者となり、排出削減に協力し、将来的に当行が排出権を取得するものです。

地元で発生した排出権を取得することで、**地域経済の活性化と地球規模での温暖化防止の両方に貢献できる取り組み**と考えています。



国内クレジット制度 大企業が資金や技術を提供して中小企業等が行った温室効果ガス排出抑制の取り組みによる排出削減量を、「国内クレジット認証委員会」が認証し、排出権として利用できる制度。

### 繊維製品製造工場のボイラーにおける燃料転換





# お金の流れで地球環境を守る

当行は、「持続可能な企業と地域社会」の実現に向け、地域と連携してお客さまの「環境経営」をサポートしています。

## しがぎん琵琶湖原則 (PLB 原則)

2005年12月取扱開始



お客さまと手を携え、琵琶湖をはじめとする地球環境保全への取り組みを一層促進させるため、「しがぎん琵琶湖原則 (PLB = Principles for Lake Biwa)」を策定し、賛同を広く呼びかけています。

### 賛同

賛同先数 **7,741**先

#### しがぎん琵琶湖原則 (PLB) の3原則

- 1 環境保全に役立つ生産・販売・サービス基準を策定します。
- 2 環境配慮行動とビジネスチャンスの両立をめざします。
- 3 環境リスクを軽減し、持続可能な地域社会を実現します。

### PLB 格付 (環境格付)

「しがぎん琵琶湖原則」に、ご賛同いただいたお客さまのうち、ご希望の方には「環境を主軸としたCSR経営に関する資料」に基づき、当行独自の「PLB格付 (環境格付)」を実施。環境経営に対する「気づき」のツールとしてご活用いただいております。

### 格付

格付取得先 **7,309**先

格付内容をオープンにして環境保全の取り組みを促進

#### 〈PLB 格付評価項目〉

ISO14001等の認証取得	省エネ・省資源への取組
環境会計導入	グリーン調達・グリーン購入の取組
土壌汚染、騒音、振動等への取組	コンプライアンスの推進部署の設置状況
環境に配慮した製品・商品の取扱	環境報告書の発行
法令遵守方針の策定	投資案件決定時の環境考慮対応
環境方針の策定	地球温暖化ガス(CO <sub>2</sub> )排出量削減への取組
環境保全のボランティア活動	リサイクルへの取組

## 琵琶湖原則支援資金 (PLB 資金)

環境保全に取り組みられるお客さまへのご融資では、「琵琶湖原則支援資金 (PLB 資金)」により、PLB 格付の取り組み度合いを反映して、最大で金利を年0.5%差し引かせていただいております。

### お借入

実行件数 **934**件

(賛同、格付、お借入の先数、件数は2011年3月末の実績数値)

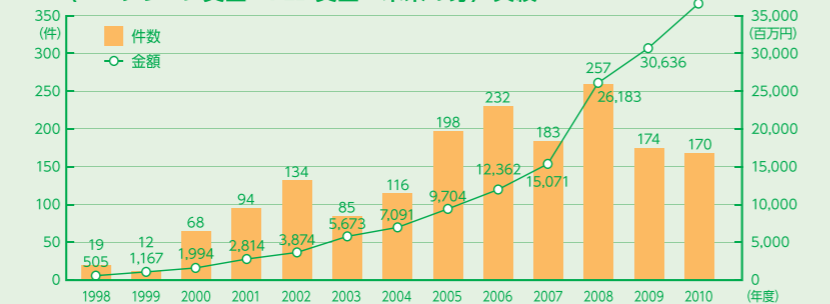
〈6つの PLB 資金プラン〉

#### 〈PLB 格付による金利引き下げ幅〉

PLB 格付	格付評価	金利引き下げ幅
L1	取り組みが先進的	0.5%
L2	取り組みが十分	0.4%
L3	取り組みが普通	0.3%
L4	今後の取り組みに期待	0.2%

(注) L5に格付された場合はPLB資金をご利用いただけません。

#### 〈エコクリーン資金・PLB 資金・未来の芽〉実績



※件数は単年度の実績、金額は取扱開始からの累計額を表示しています。

## PLB資金 (環境省利子補給活用プラン) ~「持続可能な社会と環境づくり」を促進~

環境省の利子補給制度を活用し、地球温暖化対策をサポートする、「琵琶湖原則支援資金 (環境省利子補給活用プラン)」を2009年10月から、取扱開始しました。

#### 融資条件

- 1 CO<sub>2</sub>排出量を3年以内に6%削減
- 2 環境格付で一定以上の評価
- 3 地球温暖化対策にかかる設備投資

3年間の利子補給 (2%上限)

#### 環境格付の取扱金融機関

2005年 **2**行  
2011年7月現在 **63**行

当行の「PLB格付」が、本プランの環境格付モデルになりました!

地球環境保全の「環」の拡がり

## 「生物多様性格付 (PLB 格付 BD)」 ~生物多様性保全の普及、啓発を願い~



「生物多様性格付 (PLB 格付 BD)」は、お取引先の皆さまが、生物多様性の保全に対して、具体的な行動を促す「道しるべ」となるよう、当行が開発した独自の評価指標です。生物多様性格付を環境格付と別立てとして公表するのは、全国の金融機関で初めての取り組みです (2009年11月運用開始)。

本取り組みは、格付の趣旨である「豊かな生物多様性の継承と自然共生社会の構築」に賛同され、格付の取得を希望される方を対象に、「生物多様性配慮」について測定・評価。

PLB 格付 BD で一定以上の評価を取得いただくと、PLB 資金の融資金利と合わせ最大で年0.6%の引き下げが可能となります。

#### 〈生物多様性格付評価指標〉

分野	評価指標 (概要)
経営方針	1. 「生物多様性保全」方針の策定状況
推進・管理体制	2. 推進・管理体制の構築状況
活動の実施	3. 影響の考慮と低減・回避のための行動の有無
	4. ビジネスの中への組み込み状況
	5. 自然再生や伝統文化保全の活動への貢献度合
	6. 専門的な知識を有する研究機関等との連携状況
普及啓発・活動の公表	7. 社員や取引先に理解を深める機会の設定状況
	8. 活動や成果の公表状況

#### 金融機関初!



#### 地球のいのち、つないでいこう



用語解説  
BD=Biodiversity (生物多様性)  
「地球では、さまざまな生きものがつながりあい、支えあって生きており、その『多様性』を指標にして多様な価値を守っていこう」という概念。

お客さまの声  
生物多様性の重要性は理解できても、何に取り組みばよいかわからない?

#### 〈PLB 格付 BD による金利引き下げ幅〉

PLB 格付 BD	PLB 金利引き下げ幅	BD 金利引き下げ幅	合計金利引き下げ幅
L1+	0.5%	0.1%	0.6%
L2+	0.4%	0.1%	0.5%
L3+	0.3%	0.1%	0.4%
L4+	0.2%	0.1%	0.3%

PLB格付BDの格付取得先 **1,760**先

(先数は2011年3月末の実績数値)

### 賛同

1 「豊かな生物多様性の継承と自然共生社会の構築」に賛同

### 格付

2 PLB格付BDを取得

### お借入

3 PLB資金の融資金利と合わせ最大で年0.6%の引き下げ可能

本格付を、生物多様性保全の重要性について意識を高める「気づき」のツールとして、また、企業活動に積極的に環境マネジメントを取り入れるための「きっかけ」として幅広くご利用いただけることを願っています。

#### PLB格付BD 推進担当者の声



八幡支店 片岡 達郎

「生物多様性って何?」と、お客さまからよく質問をいただきます。それに対して、「生きものたちの豊かな個性とつながり」であることを説明させていただき、お客さまと情報交換をする中で、お客さまの「生物多様性の保全」に対する関心が非常に高いことに幾度も感動しました。今後もお客さまのお役に立てるように有意義な提案を行ってまいります。



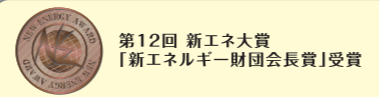
太陽光発電システムの導入と生態系の保全 「カーボンニュートラルローン 未来よし」



「カーボンニュートラルローン 未来よし」は、自然エネルギーの導入促進、琵琶湖の環境と生態系の保全を目的とするサービスです(2007年4月取扱開始)。

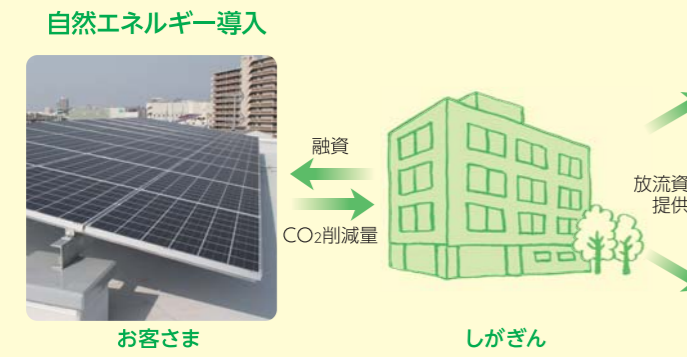
当行の環境対応型融資商品の利用を通じて「太陽光発電システム」等を導入された場合、削減された温室効果ガスの量を当行が推計し、排出権取引価格を参考に金額換算、琵琶湖の固有種「ニゴロブナ」と「ワタカ」の保護・育成・放流事業に資金を拠出し、放流しています。

なお、各商品で適用される金利プランからさらに年0.1%の金利を差引くことで、環境保全に「志」のあるお客さまをサポートしています。



用語解説 カarbonニュートラル 日常生活や事業活動に伴って発生する温室効果ガスを、植林や自然エネルギーの導入などにより実質的にゼロに近づける取り組み。

カーボンニュートラルローン 未来よし プロジェクトの流れ



琵琶湖の環境と生態系保全の「いきものがたり」活動

生物多様性の保全 湖国の食文化の保全. Includes images of Nigobuna, Wataka, and 'Funazushi' with descriptive text.

放流する「ニゴロブナ」は、内耳の「耳石」に特殊な色素で染色し、識別できることから、一定期間後にサンプリング(捕獲)して繁殖状況などを調査します。 Includes image of a fish and its otolith.

琵琶湖の固有種で絶滅危惧種のニゴロブナ・ワタカを放流



2007年度から総額700万円を財団法人滋賀県水産振興協会が実施する琵琶湖の生態系保全事業に寄贈。これはニゴロブナ177,550匹、ワタカ95,000匹相当になります。

放流するニゴロブナは、1年間養殖し体長約12cm程度になった未成魚で、役員ボランティアの「元気に育って」という掛け声のもと、一斉に琵琶湖に放流しました。



『しがぎん』成長基盤強化応援ファンド



経済の成長基盤強化に向けた取り組みを行うお客さまを対象とした『しがぎん』成長基盤強化応援ファンドを、2010年8月に設立しました。本ファンドは、日本銀行が行う「成長基盤強化を支援するための資金供給」の対象金融機関として当行が参加しており、成長分野への取り組みを強化されるお客さまへ資金供給することを通じて地域経済の発展に貢献することを目的としています。

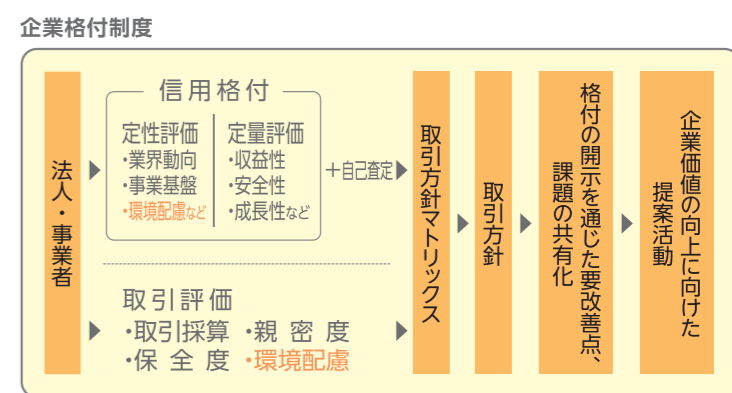
- お使用のめち: 環境・エネルギー事業, 地域再生・都市再生事業, 医療・介護・健康関連事業, 観光事業など、18分野の事業資金. 研究開発, 起業, 高齢者向け事業.

「企業格付制度」は「環境」も視野に

当行では、CSRの側面も加味した、「企業格付」を実施しています。

「企業格付」では、環境保全に熱心なお取引先の活動を取引評価ならびに信用格付に反映させるため「環境配慮評価項目」を設けています。

また、この格付制度を、お取引先の企業価値向上に向けた提案や親身なソリューション活動を充実させるための「コミュニケーションツール」として活用し、「知恵と親切を提供するビジネス」を展開しています。



豊富なSRIファンドラインナップ

環境問題や法令等順守、社会的責任への取り組みが高いと評価される企業や取り組みに投資する投資信託商品、SRI (Socially Responsible Investment: 社会的責任投資) ファンドを豊富に取り扱っています。

Table with columns: 投資対象 (Investment Target), ファンド名 (Fund Name). Lists various SRI funds like 日興エコファンド, 地球温暖化防止関連株ファンド, etc.

SRIファンドへの組み入れ

当行は、英国の新聞フィナンシャル・タイムズとロンドン証券取引所の合併会社であるFTSE社の「FTSE4Good Global Index」の構成銘柄に8年連続で選ばれています。

「FTSE4Good」指数シリーズは、世界で最も注目されているSRI株価指数の1つで、環境・社会・人権など、世界的に認められた「企業の社会的責任基準」を満たした企業により構成されています。

また、投資信託情報などを提供するモーニングスター株式会社が組成・管理する「モーニングスター社会的責任投資(SRI)株価指数」の構成銘柄にも9年連続で選ばれています。



「UNEP金融機関声明」に署名

国連環境計画(UNEP)が提唱している「環境と持続可能な発展に関する金融機関声明」に市中銀行で初めて署名しています(2001年)。

当行では「環境経営」を展開し、「金融機関声明」の精神の実現に努めています。





# 環境コミュニケーション

- ビジスマッチングやニュービジネスの育成、各種出展・講演などを通して、
- 地域社会の皆さまとの積極的な
- 環境コミュニケーション活動を展開しています。



「エコビジネスマッチングフェア2011」各ブースでは、商談や情報交換が活発に行われました

## エコビジネスパートナー探し「エコビジネスマッチングフェア」



環境関連の製品や技術・サービスに特化した、当行主催の環境ビジネス商談会「エコビジネスマッチングフェア2011」を、6月に開催しました。

本フェアは、当行のネットワークを活用し、「環境に特化」した商談と交流の場の提供を通じて、今後の新たな事業展開のサポートを目的として開催、今年で4回目となります。出展業種も幅広く、新エネルギー・省エネルギー、リサイクル、環境サポート、環境アグリ・フードなど6つのゾーンにわけて紹介。事前の商談対応の充実を図り、参加アンケートや詳細なバイヤー情報などをもとに、可能な限りのマッチングを行いました。また、出展ブースは84社、来場者数2,170名、当日の商談件数は612件にもものぼり、各ブースは終日賑わいました。



### 「エコビジネスマッチングフェア」出展企業の



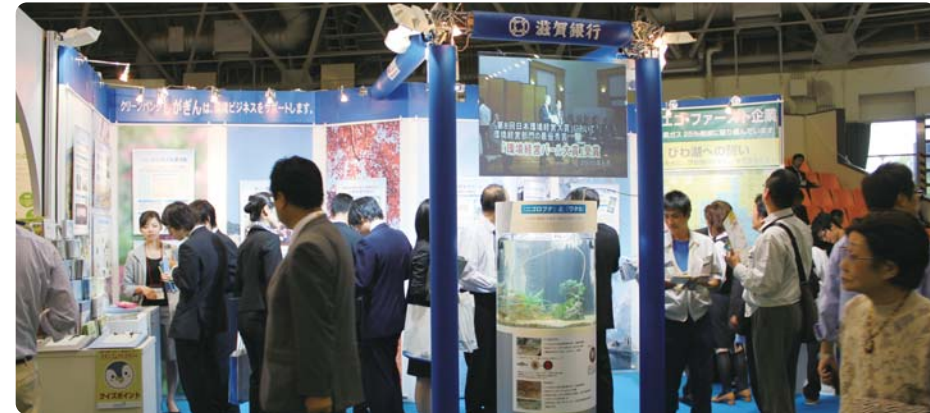
喜楽鋳業株式会社 代表取締役 小宮山 雅弘

当社の目的は、油系廃棄物を適正に無害化すること、さらにその中で有効利用できるものは徹底的に有効活用していくことにあります。このことは現代社会に必要なことであり、その実行が地球環境保全につながり、世に益することだと考えています。当フェアでは、当社の「油系産業廃棄物ゼロエミッションへの取り組み」を展示・説明させていただき、その取り組みと事業内容をご来場された多くの方々に知っていただくことができ感謝しています。昨年、「滋賀エコ・エコノミープロジェクト」から「低炭素リーダー賞」をいただきました。今後も、地球環境保全という壮大なロマンの実現に向けて邁進してまいります。

## 環境ビジネス支援をPR 「びわ湖環境ビジネスメッセ 2010」

2010年10月20日～22日の3日間、「びわ湖環境ビジネスメッセ 2010」が開催され、36,580名の来場者が訪れた場内は終日熱気に包まれました。

当行は「環境ビジネス支援」をテーマに、パネルやニゴロブナの展示を行い、金融機関ならではの環境保全の取り組みについて紹介。来場者アンケートでは、「先進的、先駆的な活動で、とてもユニークな取り組み」、「環境保全の取り組みに感動した」など、力強い激励をいただきました。



ビジネスマンや学生など、ブース内は終日来場者で賑わいました



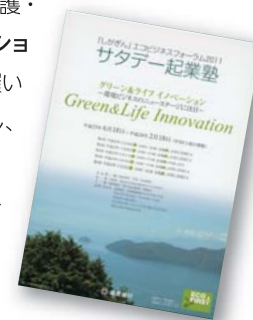
## ニュービジネスの育成を願って 「サタデー起業塾」



「産学官・金(金融)」の連携で、「ニュービジネス」にける起業家精神をサポートする「サタデー起業塾」を、2000年度より毎年開講。昨年までの卒業生はのべ1,577名にのぼります。

今年度は環境分野に加えて、今後、成長が見込まれる「医療・介護・健康」、「観光・地域活性化」に注目し、「グリーン&ライフイノベーション～環境ビジネスのニューステージに注目～」をテーマとして開催いたします。さらに、大学のシーズと企業のニーズをマッチングし、ニュービジネスの育成をめざします。

また、歴代のサタデー起業塾の受講生の中で、実際にニュービジネスに取り組まれた企業や事業者の皆さまを対象に、ニュービジネス奨励金「しがぎん野の花賞」を贈呈しています。



「しがぎん野の花賞」受賞式

## 環境と金融シンポジウム ～環境と経済の両立を超えて～

2010年12月、国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ 2010」において、「環境と金融シンポジウム」を環境経営学会と共同開催いたしました。このシンポジウムは、各界の第一人者である専門家を招き、「環境金融」の環を拡げていくことを目的に企画したものです。パネルディスカッションでは、「変われ金融：環境金融(投融資)をどう進めるか?」をテーマにこれからの「環境金融」のあり方、未来の金融について、活発な議論が展開されました。



270名の方々にご参加いただき、超満員での開催となりました

### 「しがぎん野の花賞」受賞者の



日本ポリスター株式会社 代表取締役社長 高井 文彦

永久磁石の磁場を活用して熱を起し、水を加温する磁気給湯器は、二酸化炭素を排出しない環境に優しいシステムです。この開発は、物づくりを通じて環境に、社会に、人に優しい役立つモノを作りたいとの思いからでした。昨年10月にびわ湖環境ビジネスメッセで出品後、本年2月に「しがぎん野の花賞」をいただいたことは弊社に大きな自信となり、大変感謝いたしております。まずは、皆さまへの認知度UPをめざし、この技術と製品をさまざまな用途への応用に努めてまいりたいと思っております。